

非訟事件手続法及び家事審判法の論点の整理

申立て段階	資料の収集段階	裁判(審判)段階	不服申立てと抗告審段階	その他
当事者概念と関係人概念				手続救助の在り方
申立ての方式(書面主義の導入)	<p>資料収集の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証拠調べと事実の探知(調査)の関係 ・必要的審問 ・当事者の立会権 ・当事者の申出権 ・事実の探知(調査)の事後的告知 	<p>審理終結制度の導入(非・審) 審判日の導入(審)</p>	<p>不服申立て制度の在り方(即時抗告と通常抗告の振り分け)(非)</p>	<p>裁判(審判)の取消し・変更制度の在り方</p>
<p>管轄制度の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移送の在り方 ・自庁処理の在り方(審, 調) 	<p>手続の記録化と閲覧・謄写権</p>	<p>裁判(審判)の在り方(告知方法, 告知を受ける者の範囲, 効力発生要件)</p>	<p>抗告審における手続の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度の考案 ・不利益変更禁止の原則の妥当性 ・執行停止効 ・抗告審における自庁調停(審・調) 	<p>再審制度の在り方</p>
<p>事件係属の通知又は申立書の送付</p>	<p>当事者の事案解明に向けた義務</p>	<p>費用制度の在り方(費用の負担者, 費用の立替え及び予納, 費用額確定手続)</p>		<p>履行確保制度の在り方(審, 調)</p>
<p>代理制度の在り方(任意代理人の資格等)</p>	<p>参加制度(権利参加, 許可参加, 強制参加)の在り方</p>	<p>和解・調停制度(非)</p>		
<p>除斥・忌避制度の在り方</p>	<p>子ども代理人制度の導入(審・調)</p>	<p>調停条項案の書面による受諾の対象の拡大(調)</p>		
	<p>家事調停事件における資料の家事審判事件での取り扱い(審・調)</p>	<p>合意に相当する審判制度の在り方(調)</p>		
	<p>テレビ会議・電話会議システムの導入</p>	<p>調停に代わる審判制度の在り方(調)</p>		
	<p>参与員の手続関与の在り方(審)</p>			
	<p>先決問題を理由とする中止(非・審)</p>			
	<p>申立ての取下げ制度の在り方</p>			
	<p>申立ての変更制度の在り方</p>			
	<p>受継制度の在り方(非)</p>			

主な検討事項